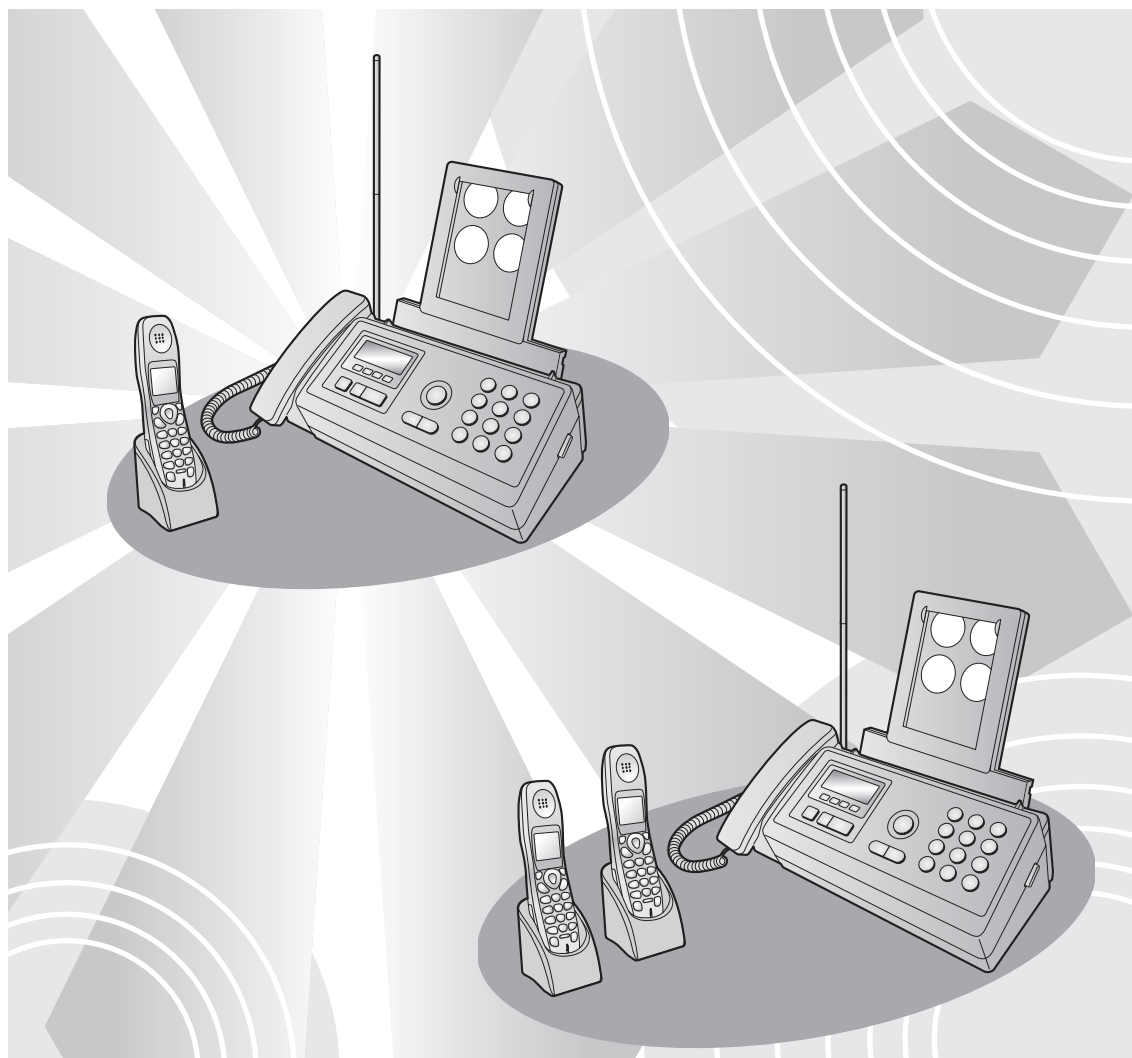
SHARP

普通紙コピーファクシミリ
取扱説明書 保証書付

形名 UX-F14CL（ユーエックス エフ シーエル）
UX-F14CW（ユーエックス エフ シーダブル）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

技術基準適合品

もくじ

ご使用の前に

<取　付>

<設　定>

電　話

<電話帳>

コピー／ファクス

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

こまったときは

ご参考に

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

⚠危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。

■充電池は、専用のものを使用してください。

■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
失明のおそれがあります。

⚠警告

■水や薬品などの液体をこぼさないでください。
火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。
けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠警告

■浴そうなど、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。

■充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

■内部に金属物を入れないでください。
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグやACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。
火災・感電の原因になります。差し込みプラグ、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグ・ACアダプターをコンセントから抜いてください。
火災・感電・故障の原因になります。

■ぬれた手で差し込みプラグやACアダプターの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

■この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流100V）に接続してください。
海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

■電源コード・差し込みプラグ・ACアダプターを破損するようなことはしないでください。
次のようなことはしないでください。
・傷つける　・無理に曲げる
・加工する　・無理にねじる
・熱器具に近づける　・重い物を載せる
・無理に引っ張る　・束ねる
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。
コードやプラグ、ACアダプターの修理は、販売店へご相談ください。

■差し込みプラグやACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。
感電の原因になります。

■差し込みプラグやACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。
感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグやACアダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■子機を充電するときは、専用の充電器、ACアダプターを使用してください。
指定以外のものを使用すると、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になります。

■医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠注意

■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。

落下により破損・けがの原因になることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。

通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■子機を壁にかけて使用するときは、充電器を確実に取り付けてください。

落下により、けがの原因になることがあります。

■暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。

35℃以上、5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になります。

■火気や熱器具に近づけないでください。

変形や故障、火災の原因になることがあります。

■充電器やACアダプターを布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因になることがあります。

■この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コード・ACアダプターを抜いてください。

事故の原因になることがあります。

■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

○アース線を取り付けられるところ
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 設置工事（D種）が行われている接地端子

○アース線を取り付けてはいけないところ
- ガス管
- 電話専用アース
- 避雷針
- 水道管や蛇口

■カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。

けがの原因になることがあります。

■充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。

■手で直接記録ヘッドに触れないでください。

発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。

感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

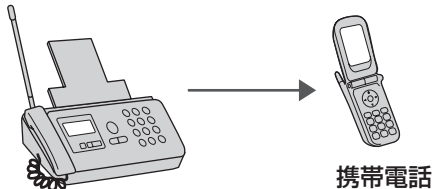
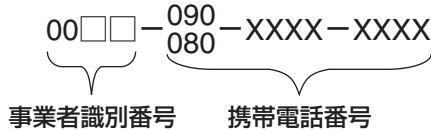
普通紙ファクシミリ／充実のFAX機能

熱転写記録方式により、普通紙でコピーやファクス受信（A4送受信）ができます。記録紙は普通紙を30枚までセット可能。原稿の連続自動給紙は10枚まで可能です。
また、大きく見やすい文字表記でよく使うキーをすっきり配置したシンプルなデザインとなっています。

携帯とくとくダイヤル機能（☞ 103 ～ 104 ページ）

携帯電話にダイヤルするとき、あらかじめ登録しておいた「事業者識別番号」（例：NTT東日本0036、NTT西日本0039など）を自動的につけておトクに発信。
発信ごとのダイヤル操作や個別の電話帳登録の手間がなく、携帯電話への通話料金がおトクになるサービス※を利用することができます。

※携帯電話への通話料金がおトクになるサービス

携帯電話番号の前に「事業者識別番号」をつけてダイヤルすることにより、事業者が設定した通話料を選ぶことができるサービスです。
（2004年4月1日よりサービス開始）

※通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

読上げボイスダイヤル機能（☞ 90 ページ）

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルの番号を、スピーカーでお知らせします。番号を確認しながらダイヤルすることができ便利です。
（子機にはこの機能はありません。）

※工場出荷時は読上げボイスダイヤルが設定されていません。設定のしかたは90ページをご覧ください。

液晶ディスプレイ付コードレス子機（☞ 18 ～ 19 ページ）

液晶ディスプレイで電話番号や名前を表示。子機の操作でファクス送受信はもちろん、録音を再生することもできます。また、必要に応じて子機は合計４台まで増設できます。

迷惑電話拒否機能（☞ 97 ～ 98 ページ）

いたずら電話や無言電話などの迷惑電話を受けたとき、通話中にお断りメッセージを流して電話を切ることができます。
また、NTTの「ナンバー・ディスプレイ」サービス利用時※は、以降の同じ番号からの着信をお断りします
※契約が必要です。（有料）

ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ対応（☞ 105～123ページ）

電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。
また、電話帳に登録している相手先からの電話は、名前を表示したり、呼出音を変えたりすることができます。
「ナンバーディスプレイ」「キャッチホン・ディスプレイ」サービスはNTTとの契約が必要です。（有料）

取扱説明書の見かた

子機の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、マルチファンクションキーの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順

操作のしかた　通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ　イケダ サトシ
●相手の方を選んだあと、を押すと電話番号を表示して確認することができます。

2 を押す　0312345678
●通話ボタンが点灯します。
●ダイヤルを始めます。

3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら充電器に戻す
●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ 途中でやめるときは
を押します。

■ 17ケタ以上の番号をダイヤルするときは
電話帳には、電話番号を最大16ケタまでしか登録できません。17ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます。（チェーンダイヤル機能）
① 手順1～2または「電話帳に登録した名前の頭文字から検索して電話をかけるときは」の手順①～⑤を行い、最初の番号をダイヤルする
② を押す
③ 手順1～2または「電話帳に登録した名前の頭文字から検索して電話をかけるときは」の手順①～⑤を行い、次のダイヤルをする

■ 電話帳に登録した名前の頭文字から検索して電話をかけるときは
名前の頭文字を入力して、相手の方を電話帳から選ぶこともできます。
① を押す
② 相手の方の頭文字をダイヤルボタンで入力する
例：「イケダ」を検索する→ を2回押す
③ を押す
※ 入力した文字で始まる相手の方を表示します。入力した文字で始まる名前が登録されていないときは、最も近い次の頭文字で始まる名前を表示します。
④ で次の番号を選ぶ
⑤ を押す
⑥ 相手の方とお話しする
⑦ 通話が終わったら充電器に戻す

お知らせ
● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

電話帳　留守番　電話　子機の電話帳で電話をかける

61

タイトル
項目の大まかな内容を表しています。

中見出し
説明している操作などの具体的な内容を表しています。

機能説明
機能の内容を説明しています。

インデックス
操作したい項目を簡単に検索できます。

操作上の注意
操作するときの注意事項を説明しています。

操作手順
基本的な操作を説明しています。

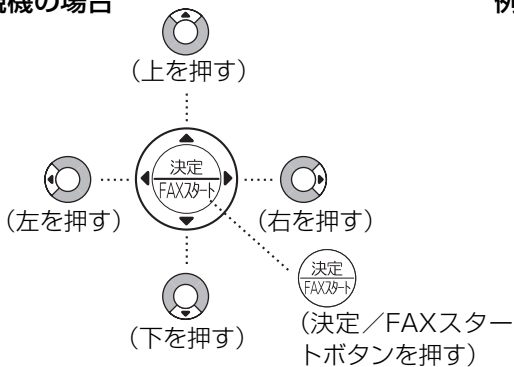
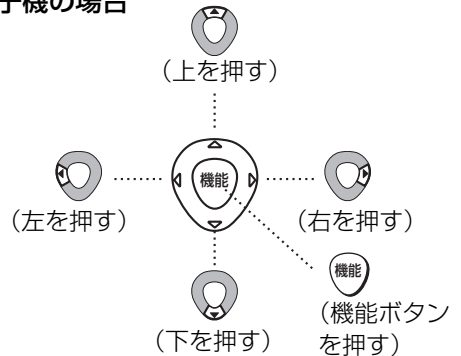
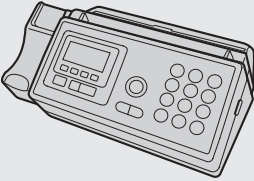
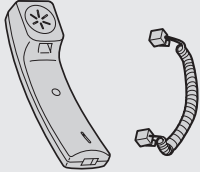
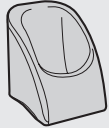
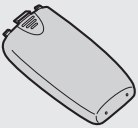
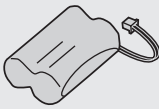
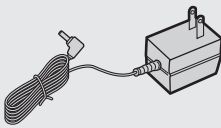
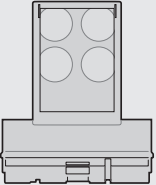
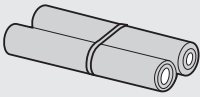
補足説明
操作に関する補足事項を説明しています。

追加説明
操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

お知らせ
制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

操作手順でのボタンやマークの意味

取扱説明書内では次のように表記しています。

■ マルチファンクションキーの4方向（左・右・上・下）を押す操作を、下図のように示しています。
決定/FAXスタート は親機の決定／FAX スタートボタン、機能 は子機の機能ボタンを押す操作を示しています。

付属品の確認

このたびは、「普通紙コピーファクシミリ」をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

親機 1台

受話器 1個
受話器コード 1本

子機
UX-F14CL：1台
UX-F14CW：2台

充電器（子機用）
UX-F14CL：1個
UX-F14CW：2個

充電池ふた
UX-F14CL：1個
UX-F14CW：2個

充電池
UX-F14CL：1個
UX-F14CW：2個

ACアダプター（子機用）
UX-F14CL：1個
UX-F14CW：2個

電話機コード（約2m）1本

記録紙カセット 1個

●インクリボンとインクリボン用ギヤは、あらかじめ親機にセットされています。

お試し用インクリボン1本

インクリボン用ギヤ
緑色：1個
白色：1個

●付属のお試し用のインクリボンは、工場出荷時に正しくプリントできることを確認したものです。別売のインクリボンよりもプリントできる枚数が少なくなっておりますので（A4サイズで、約20枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください。（☞ 150ページ）

●お試し用のインクリボンがなくなったら、インクリボンのみを廃棄して別売のインクリボンに交換してください。
ギヤ（緑色1個、白色1個）は廃棄しないでください。

取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・1冊　**かんたん取り付けガイド**・・・・・・・・・1部

※ 記録紙は付属していませんので、お買い求めください。（☞ 150ページ）
※ 充電器（子機用）の壁掛け用のネジは付属していません。壁に掛けてお使いのときは、市販のネジをお買い求めください。（☞ 27ページ）

お知らせ

● この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ 168 ページ）
● お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
● この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。
● この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

ご使用の前に知っていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTT のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要** となります。
詳しくは、**局番なしの 116 番（無料）** へお問い合わせください。

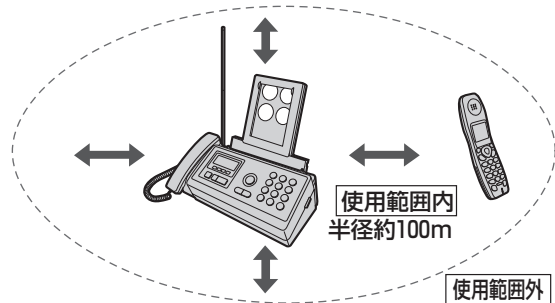
この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

この装置について

● この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

子機について

■ 使用範囲を確かめる

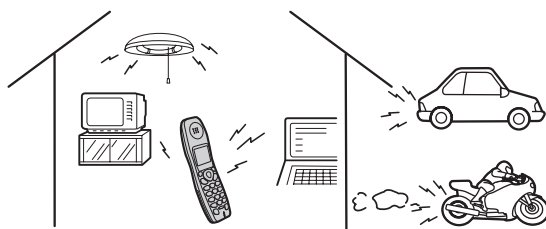
子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、半径約100mです。（直線見通し距離）
内線通話（☞45～46ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

子機は使わないときも、充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■ 親機と子機の間に障害物のある場所で使わない

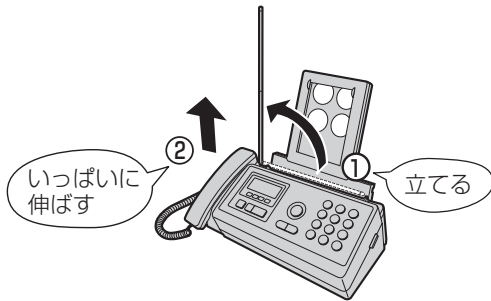
マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ 雑音が入ることがあります

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」したときなど、雑音が入ることがあります。

■ **“傍受”にご注意ください**

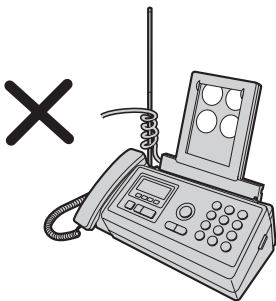
この商品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

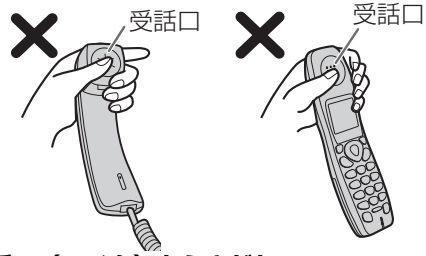
■ **親機のアンテナは立てて伸ばす**

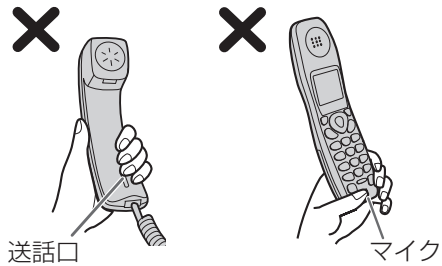
電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。

■ **子機の呼出音は、遅れて鳴ります**

電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の呼出音も鳴ります。

■ **アンテナにコードを巻き付けない**

親機の電源コードや電話機コード、充電器の電源コードをアンテナに巻き付けないでください。
着信時に子機の呼出音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。

■ **受話口やスピーカーの穴をふさがない**

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ **送話口（マイク）をふさがない**

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ **取り扱いについて**

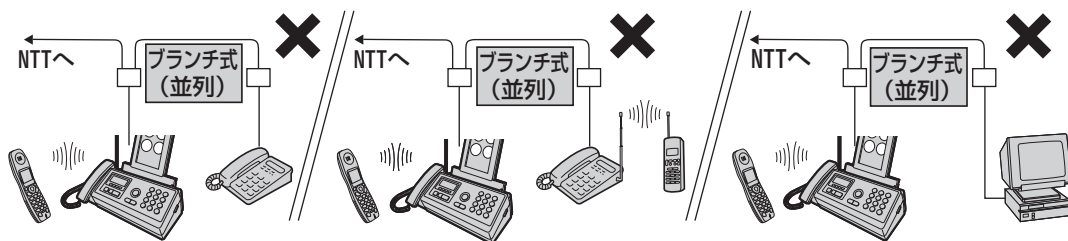
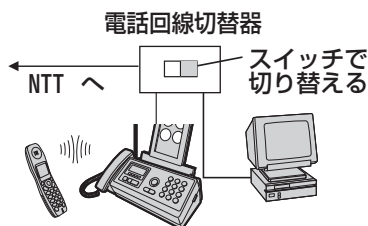
ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。
こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ **子機や充電器を設置するときは**

親機や他の増設子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）
子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

接続について

■ **ブランチ式（並列）に接続しない**

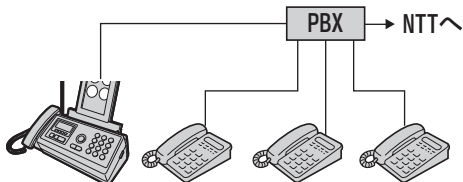
● 下図のように、一つの電話回線を2つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の呼出音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき伝送速度が遅くなることがあります。

● パソコン等を接続する場合は、市販の電話回線切替器を接続すれば、一つの電話回線を切り替えて使用できます。

■ **構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへの接続について**

● 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。

● お使いになるホームテレホンや交換機などの機種によって接続方法が異なります。

● 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、機種によってはナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を「シナイ」にしてお使いください。（☞106ページ）

● 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えることができないことがあります。

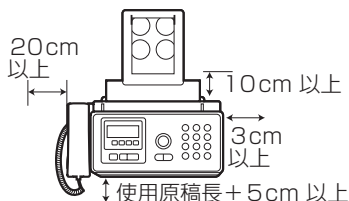
構内交換機（PBX）の場合

● **ホームテレホンとは**

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

● **ビジネスホンとは**

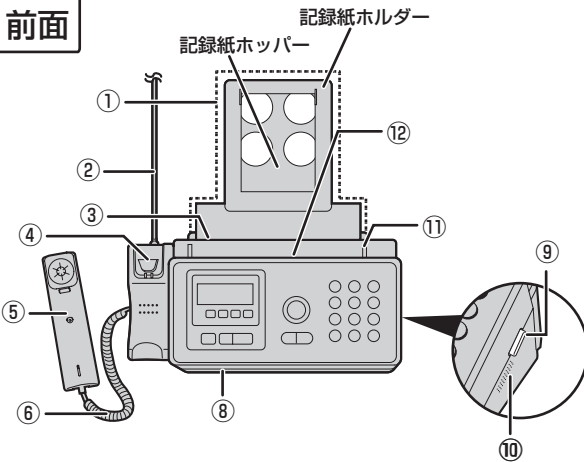
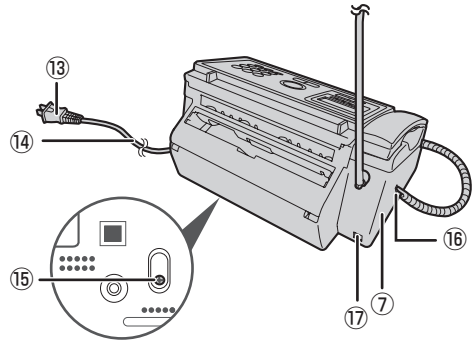
電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

■ **設置について**

本商品の操作、消耗品の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し機能を維持する作業を行うために、右図のような設置スペースを確保してください。

各部の名前とはたらき（親機）

各部の名前

前面

背面

①	**記録紙カセット** 記録紙をセットします。 記録紙ホルダー：窓の部分にお好きなポストカードなどを入れ、フォトフレームとしてもお使いいただけます。
②	**アンテナ**
③	**記録紙排出口** 記録紙がここから出てきます。
④	**フックスイッチ**
⑤	**受話器**
⑥	**受話器コード**
⑦	**スピーカー** 録音を再生しているときや、オンフックボタンを押して受話専用にしているときは、ここから聞こえます。
⑧	**原稿排出口** 原稿がここから出てきます。
⑨	**操作パネル解除ボタン** インクリボンを交換するときや、原稿、記録紙がつまったときに、このボタンを押して操作パネルを開けます。
⑩	**通気孔**
⑪	**原稿ガイド** 原稿の幅に合わせます。
⑫	**原稿挿入口** ここに原稿をセットします。
⑬	**差し込みプラグ**
⑭	**電源コード**
⑮	**アース端子** 本体の底面にあります。
⑯	**受話器接続端子** 受話器コードを接続します。
⑰	**回線接続端子（回線差込口）** 電話機コードを差し込みます。

操作パネル

①	液晶ディスプレイ（☞17ページ）

②	このファクシミリの形名です。 （UX-F14CLまたはUX-F14CW）

③	決定／FAXスタートボタン（☞77、79、80、82、84、88ページ）
	選択や入力した内容の決定に使います。 また、ファクスの送受信やメモリー受信したデータをプリントするときに使います。

④	マルチファンクションキー
	各種の項目を選ぶときや、電話帳で相手の方を選ぶときに使います。 また、押す方向によって次の機能を兼用しています。 **は、受話音量（☞32ページ）** 受話音量を変えるときに使います。 **は、呼出音量／スピーカー音量（☞30、32ページ）** 呼出音量、スピーカー音量を変えるときに使います。 **は、再ダイヤル（ポーズ）（☞43、52、80ページ）** 同じ相手の方にもう一度ダイヤルするときに使います。（再ダイヤル） また、電話番号の登録中に、待ち時間を入れるときに使います。（ポーズ） **は、電話帳（☞52～53、56、80ページ）** 電話帳で相手の方に電話をかけるときに使います。また、登録した電話帳を消去、修正するときに使います。

⑤	**ダイヤルボタン**
	電話をかけるときや、文字入力、登録操作を行うときに使います。 押したボタンの番号を音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）設定／解除したいときは90ページをご覧ください。
	0 は、再生（☞68ページ）
	録音内容を再生するときに使います。

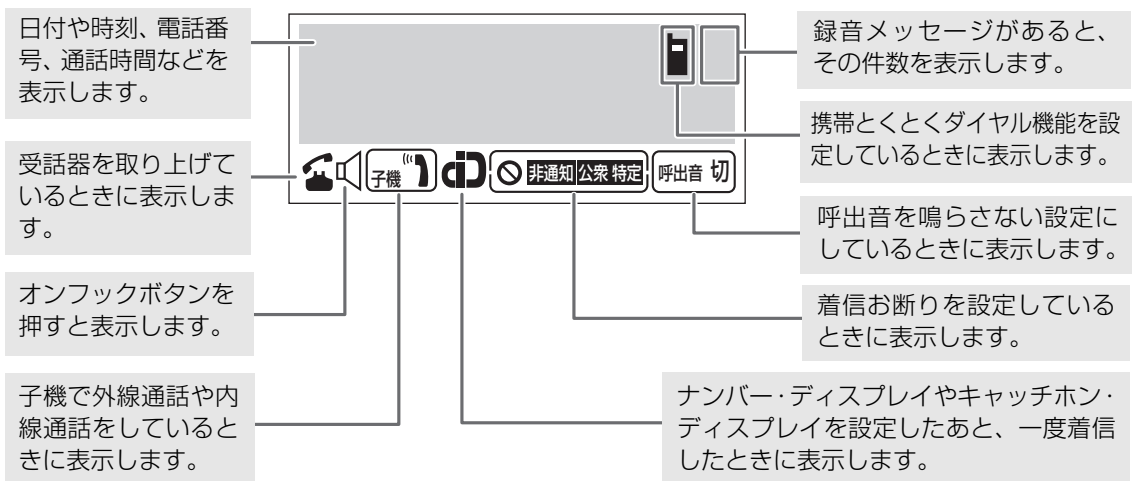
⑥	**登録ボタン**
	登録や設定を行うときに使います。
	画質／カナボタン（☞54、55、74ページ）
	原稿の文字の大きさや種類によって画質や濃度を選ぶときに使います。 また、文字を入力するとき、カナ入力モードや英字入力モード、数字入力モードに切り替えるときに使います。
	キャッチ／消去ボタン（☞96ページ）
	キャッチホンを利用するときに使います。 また、録音内容を消したりするときに使います。
	コピー／印刷ボタン
	原稿をコピーするときに使います。

⑦	**迷惑電話ボタン**
	迷惑電話をお断りするときに使います。

⑧	**停止 停止ボタン**
	操作や送信を途中で止めるときに使います。
	留守 留守ボタン（☞65、67ページ）
	外出時、留守番電話にするときに使います。

⑨	**オンフック オンフックボタン（☞37、79ページ）**
	受話器を置いたままダイヤルするときに使います。
	内線/保留 内線／保留ボタン（☞42、45、47、48ページ）
	子機と内線でお話しするときや、相手の方を保留メロディでお待たせするときに使います。

⑩	**＊ は、トーン／⏮（戻し）（☞68、95ページ）**
	再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音内容を聞いたりするときに使います。 また、ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときに使います。
	＃ は、⏭（送り）（☞68ページ）
	再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

ディスプレイ表示

＊ 上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

各部の名前とはたらき（子機）

各部の名前

マルチファンクションキー

電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。
また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。

● は、（音量）
（☞33 ページ）
お話し中に、受話音量を変えるときに使います。

● は、（再ダイヤル）または（ポーズ）
（☞44、57、81、113、115、116、117 ページ）
同じ相手の方にもう一度、電話をかけ直すときに使います。（再ダイヤル）
ナンバー・ディスプレイをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。
また、電話番号の登録や発信の途中で、待ち時間を入れるときに使います。（ポーズ）

● は、（電話帳）
（☞57 ページ）
電話帳に登録するときなどに使います。

ホットラインダイヤルボタン
（☞64 ページ）

ホットラインダイヤルを使って電話をかけるときに使います。

通話ボタン（表示ランプ兼用）
（☞38、40 ページ）

外へ電話をかけるときや受けるときに使います。

オンフックボタン
（☞38 ページ）

受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

機能（ファクス）ボタン
（☞81、85、93ページ）

登録操作やファクスを送受信、迷惑電話をお断りするときに使います。

/（音量）ボタン
（☞31、33 ページ）

呼出音量やスピーカー音量を変えるときに使います。

カナ／キャッチボタン
（☞59～60、96 ページ）

文字を入力するとき、カナ入力モードや英字入力モードに切り替えるときに使います。
また、キャッチホンを利用するときに使います。

切ボタン（表示ランプ兼用）

通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。

ダイヤルボタン

電話をかけるときや、文字を入力するときに使います。
また、次の機能を兼用しています。

5（戻し）ボタン （☞69 ページ）
再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。

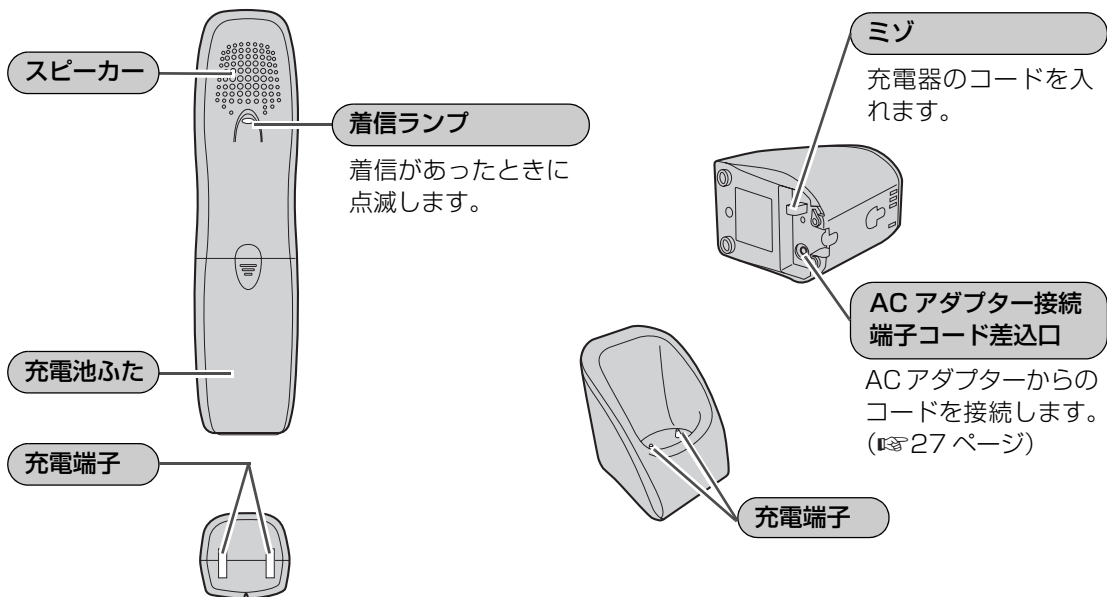
6（送り）ボタン （☞69 ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

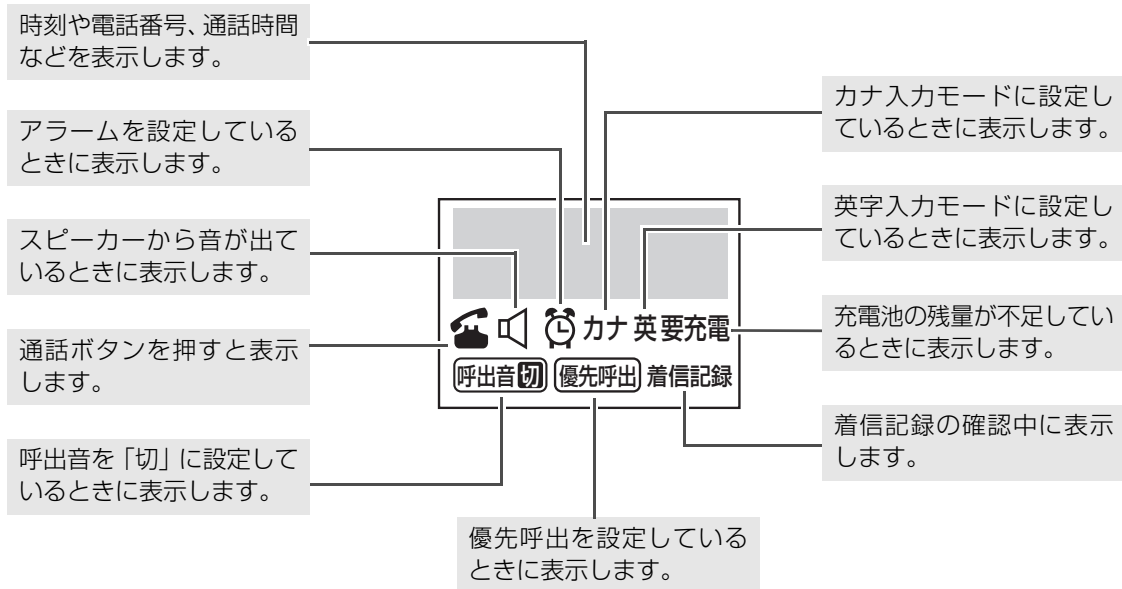
9（早聞き）ボタン （☞69 ページ）
録音内容を早く聞くときに使います。（約 1.5 倍速）

＊（トーン）ボタン
（☞95 ページ）
ダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。

保留／内線 / クリアボタン
（☞42、46、59、60 ページ）

通話中に、相手の方をお待たせするときや、親機と内線通話をするときに使います。
また、入力した文字を消すときにも使います。

点灯するボタンは（通話）と（切）のみです。

各部の名前とはたらき（子機）

ディスプレイ表示

※上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

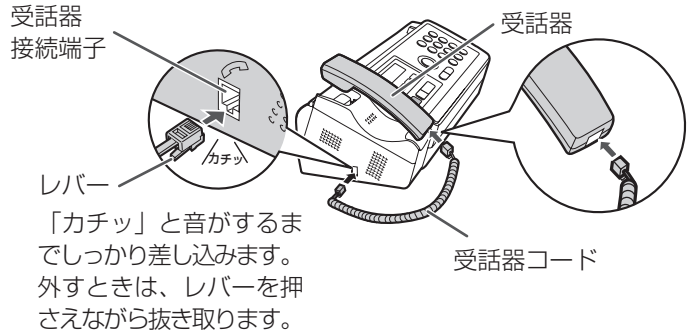
子機のディスプレイ表示は点灯しません。

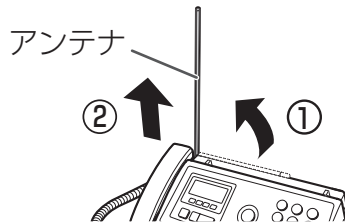
親機を接続する

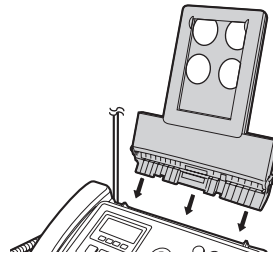
受話器、記録紙カセットを取り付ける

操作のしかた

1 受話器コードを、受話器接続端子と、受話器に差し込む

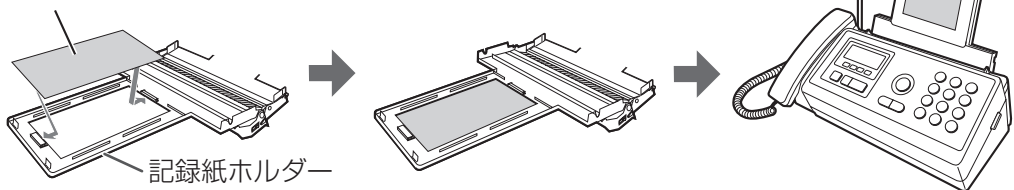
「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。外すときは、レバーを押さえながら抜き取ります。

2 アンテナを立てて伸ばす

アンテナを立てて伸ばさないと、電波の届く距離が短くなります。

3 記録紙カセットを取り付ける

向きに注意して、図のように取り付けてください。

こんなことができます

窓の部分にお好きなポストカードやハガキサイズの写真などを入れてお使いいただけます。

ポストカードや写真などのうら面を手前にして、取り付ける

記録紙ホルダー

お知らせ

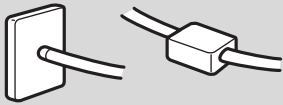
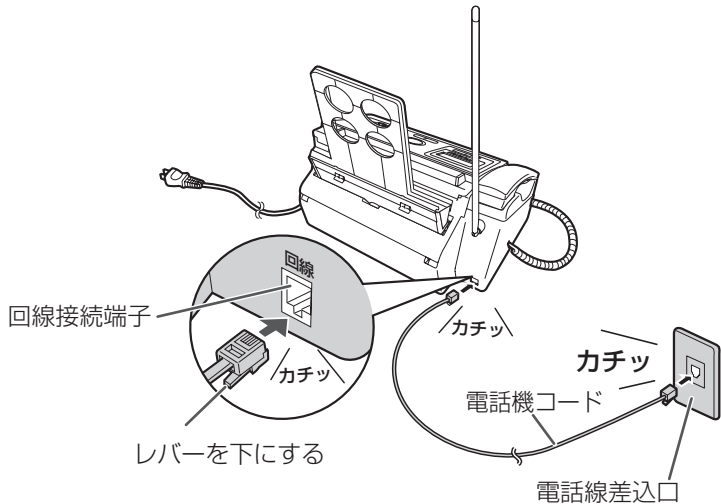
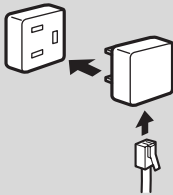
- この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

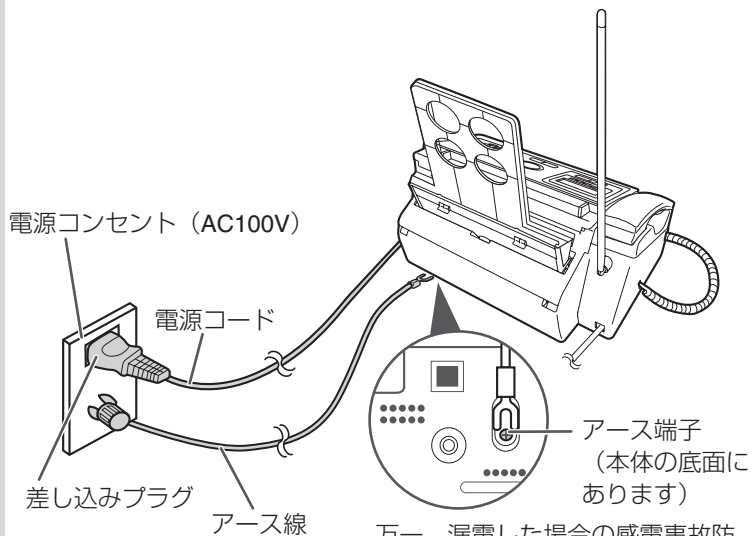
電話回線に接続する／日付・時刻を設定する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 電話機コードを、回線接続端子とご家庭の電話線差込口に差し込む

●コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、最寄りのNTTにご相談ください。

３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。

2 差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

●電話機コードを接続する前に差し込みプラグを電源コンセントに差し込んだ場合、親機の液晶画面が「デモモード」になります。
そんなときは電話機コードを接続してください。「デモモード」が止まり、回線種別が設定され、日付・時刻を設定する表示になります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。

次ページへ→

→つづき

3 電源が入り、「ヒヅケ・ジコク ヲ　セッテイ」と表示されたら

 を押す

ヒヅケ・ジコク ヲ セッテイ

4 ダイヤルボタンで日付を入れる

●ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日をプリントするので、日付・時刻は正しく設定します。

ヒヅケ 04-08-10

例：0 4 0 8 1 0
2004年 8月 10日

● 数字を入れまちがえたときは、キャッチ/消去 を押して、もう一度入れ直します。
● 年は西暦年の下２桁を入れます。
【年入力】 ２００４年 ⇒ ０４
～
２０４８年 ⇒ ４８

5 ダイヤルボタンで時刻を入れる

ジコク 14:45

時刻は24時間制で入れます。ただし、表示は12時間制になります。

入力例：1 4 4 5
午後２時 ４５分

表示例：２：４５PM

6 決定/FAXスタート を押す

●０秒から時計がスタートします

トウロク シマシタ

7 電話回線が自動的に設定される

●10PPSの回線を使われているときは、手動で設定してください。
●ADSL回線やISDN回線をご利用のときは146～149ページをご確認ください。

●回線種別を検出できなかったときは、自動的に20PPSに設定されます。

●回線種別とは…

電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。
（利用している回線の種類は、NTTとの契約によります。）

●次のようにディスプレイ表示されたときは

1:20 2:トーン 3:10
1-3 ヲ ニュウリョク

回線種別自動設定ができませんでした。回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。
回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。

こんなときは 1ア ～ 3サ で回線を選んでください。

20PPS	▶	1ア
トーン（プッシュホン）	▶	2カ
10PPS	▶	3サ

■ **回線の種類がわからないときは（☞24ページ）**

■ **回線を手動で設定するときは（☞24ページ）**

■ **あとで日付・時刻を設定し直すときは**

① 待受画面で [登録] を押す

② [◇] で「1:ショキ セッテイ」を選び [決定/FAXスタート] を押す

③ [◇] で「1:ヒヅケ・ジコク」を選び [決定/FAXスタート] を押す

④ 操作のしかた （☞22 ページ）の手順４～６の操作を行う

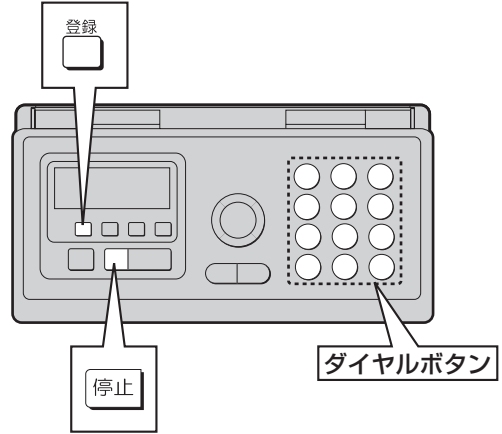
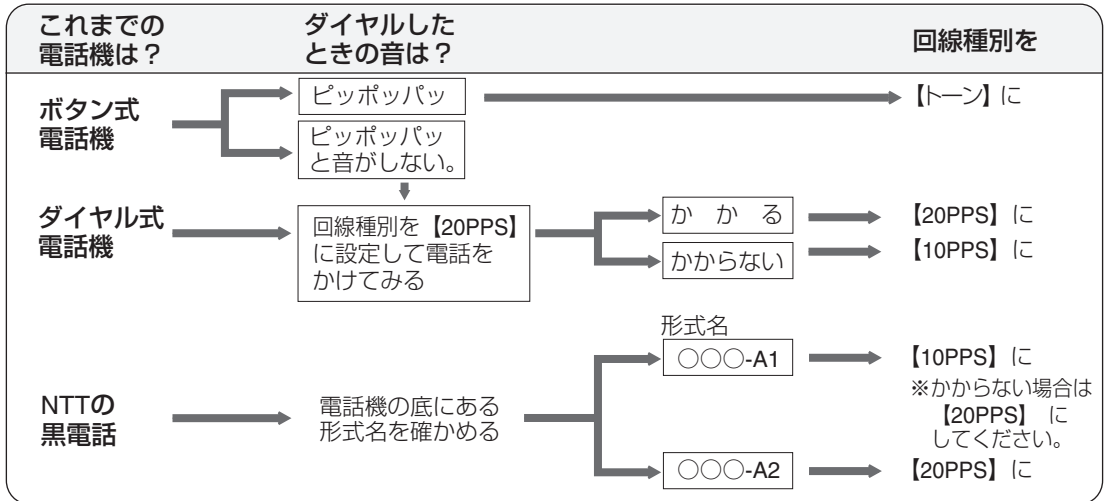
⑤ [停止] を押す

※電話回線をADSLやISDNに変更する場合は、147～149ページをご覧ください。

お知らせ

- 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）
- 日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。年は送信したファクスにプリントされます。
- 電源コードを抜いたり、停電などで電源が切れると、日付・時刻の設定は保持されません。また、手順3、４、５で [停止] を押したり、操作の途中で約１分間何もしないでいると、日付·時刻は設定されずに待受画面に戻ります。このようなときは、待受画面の日付・時刻の表示は「1月1日 0:00AM」のままになり、「留守録時の日時スタンプ機能」などが働きません。上記の「あとで日付・時刻を設定し直すときは」をご覧になって日付・時刻を合わせてください。
- 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
- IP電話（インターネットを使った電話）サービスをご利用のときは、回線種別が正しく合わないことがあります。ご契約されている回線種別をご確認の上、手動で回線種別を設定してください。（☞24ページ）
- 電源を入れると、親機の底面等が部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。

回線種別を合わせる（変える）ときは

回線種別を親機が自動的に設定できなかったときや、電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。もう一度、回線種別を設定し直してください。
また、10PPS回線をご利用の方は、自動的に設定されませんので、下記の操作で10PPSに設定してからお使いください。

●回線の種類がわからないときは
回線の種類は、次の方法で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTT支店、営業所にお問い合わせください。

お知らせ

● 受話器を取った状態や､オンフックボタンを押した状態で、回線種別を変えることはできません。

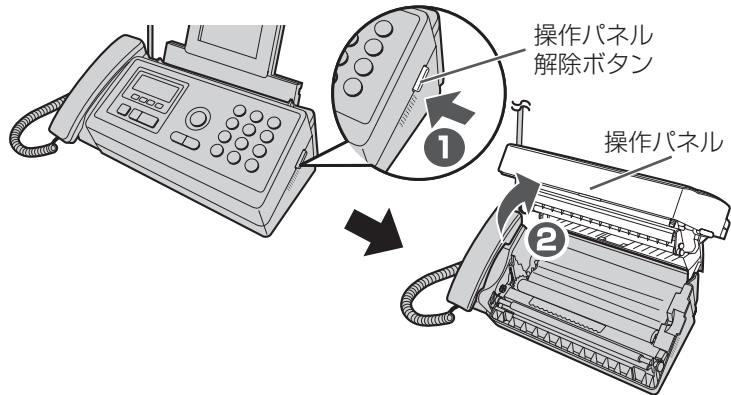
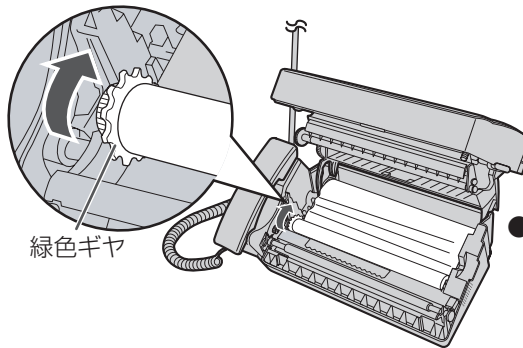
インクリボンを確認する

はじめてお使いになるときは、あらかじめ親機にセットされているインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。
セットされているインクリボンは、工場出荷時に正しくプリントできることを確認したものです。別売のインクリボンよりもプリントできる枚数が少なくなっておりますので（A4サイズで、約20枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください。

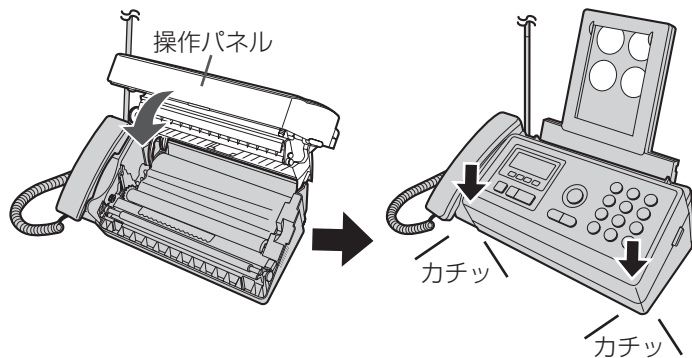
インクリボンは当社推奨品をお使いください。
(☞129、150ページ)
●UX-NR4A4
●UX-NR4A4W
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください）

操作のしかた　記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

1 操作パネル解除ボタンを押して操作パネルを開ける

●操作パネルをいっぱいに開けるととまります。

2 緑色ギヤを矢印の方向へ2～3回まわしてインクリボンのたるみを取る

●インクリボンの上にラベルが貼られているときは、そのラベルがかくれるまで巻き取ってください。

3 操作パネルを閉める

●手をはさまないように、注意してゆっくり閉めてください。

●「シバラク　オマチクダサイ」と表示された後、「キロクシ／リボン　カクニン」と表示されるときは、インクリボンがたるんでいます。こんなときは、もう一度手順1から操作をやり直してください。

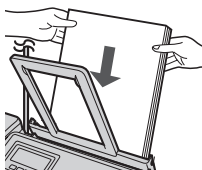
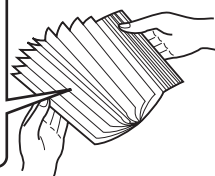
記録紙をセットする

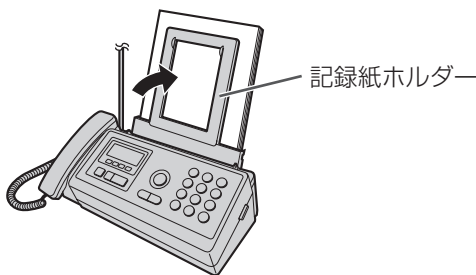
A4サイズの記録紙をセットします。
1度に30枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙は付属していませんのでお買い求めください。記録紙は、A4サイズの当社推奨品をお使いください。（☞150ページ）
●普通紙（PP110MA4）
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください）
推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃く、または薄くプリントされることがあります。

操作のしかた

1 記録紙ホルダーを開く

2 印刷する面をウラ向きにし、記録紙カセットにセットする（一度に30枚まで）

記録紙をよくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットしてください。
さばかずに紙の先端をそろえないでセットすると、記録紙が正常に送られないことがあります。

●記録紙カセットが壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。
このようなときは、親機の設置位置を少し前に寄せてください。
●記録紙を強く差し込まないでください。

3 記録紙ホルダーを戻す

■ **記録紙を追加するときは**

いったん記録紙を全部抜き取ってから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙を追加しないでください。

■ **記録紙がつまったときは（☞ 128ページ）**

お知らせ

● しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
● プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。
● 長期間、記録紙カセットに記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。

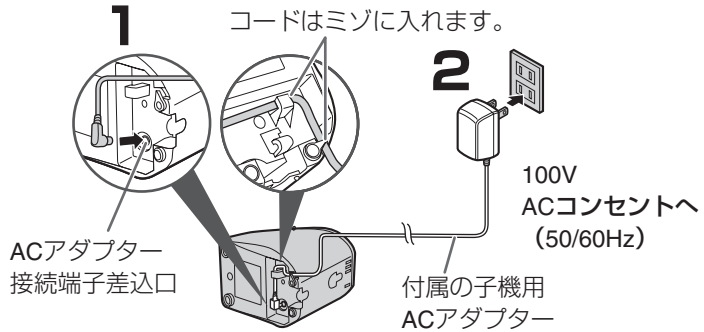
子機を充電する

充電器をACアダプターと接続して電源コンセント（AC100V）に差し込みます。また、子機を壁に掛けて使うこともできます。

充電器を接続する

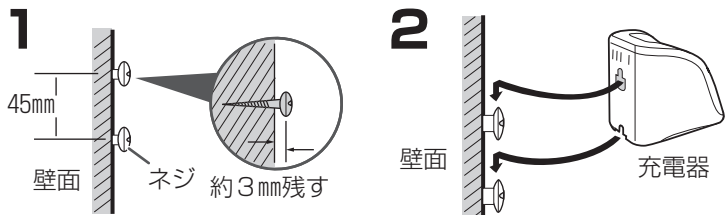
操作のしかた

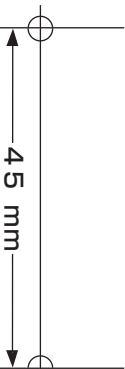
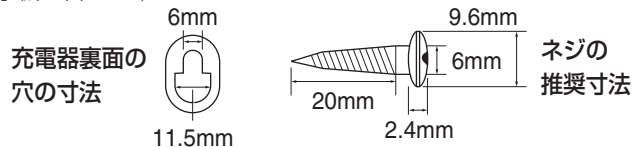
1 充電器にACアダプターを接続する

2 ACアダプターをコンセントに差し込む

子機を壁に掛けて使う

操作のしかた

1 ネジをしっかりとした壁や柱に取り付ける

2 充電器を取り付ける

●壁や柱に取り付けるときは、しっかりとした、一定の厚み（2cm以上）のある所へ取り付けてください。
●ACアダプターのコードを壁面と充電器の間にはさまないようにしてください。

●壁掛け用ネジは付属していません。
取り付ける場合は、図の推奨寸法に近いネジをお買い求めください。
子機１台：２本

お知らせ

- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。
- 子機の充電器は、充電端子が汚れていたり、異物がついていたりすることがあります。いつもきれいにしておいてください。（☞126ページ）
- 充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

45mm
壁掛用取り付け寸法

充電池をセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、
必ず10時間以上充電してください。

充電池の寿命

- 充電池にも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
- 使用頻度にもよりますが、約2年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。(別売品／消耗品 ☞ 150ページ)

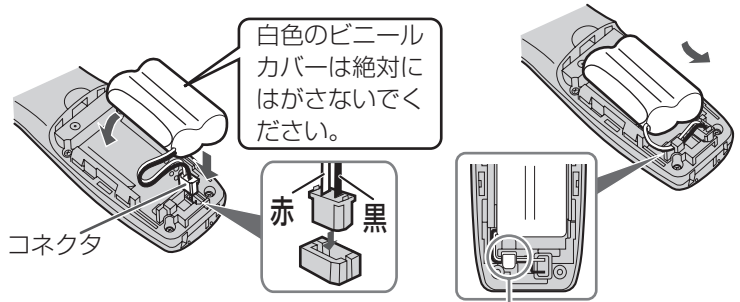
通話時間について

いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は

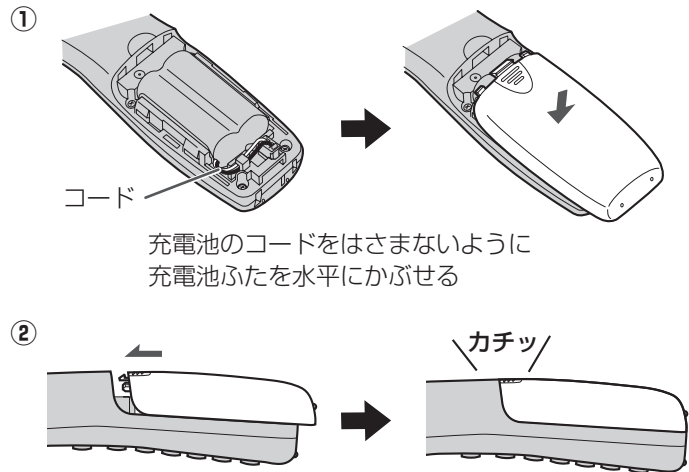
- 通話状態で**約6時間**です。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます。(子機のディスプレイに“要充電”が表示されます。）このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。

ご使用の前に
取付
設定
子機を充電する

操作のしかた

1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる

- コネクタはしっかり差し込んでください。
- 充電池のコードをミゾに通して、内側に寄せる。

2 充電池ふたを取り付ける

①

充電池のコードをはさまないように充電池ふたを水平にかぶせる

②

「カチッ」と音がするまで充電池ふたをスライドさせて閉める

次ページへ→

→つづき

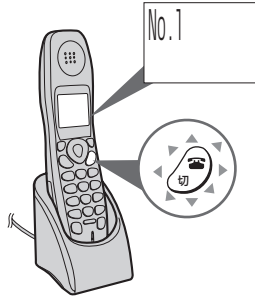
3 子機を充電器に置く

ボタン面を手前に向けて置いてください。逆向きに置くと充電されません。

はじめてお使いになるときは、切ボタンが点灯してから

１０時間以上充電

してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（切ボタン点灯）、充電が始まります。充電池が完了しても切ボタンは点灯したままです。

- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
- はじめて子機を充電するときは、切ボタンが点灯しても、液晶ディスプレイに“Ｎｏ.１”が表示されるまで時間がかかることがあります。
- 充電中は充電器や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
- ディスプレイに表示される“Ｎｏ.１”などの番号は、子機の内線番号です。内線通話やとりつぎ転送するときに使います。

■ 内線通話やとりつぎ転送をするときは
（☞45～48ページ）

お知らせ

- 旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。

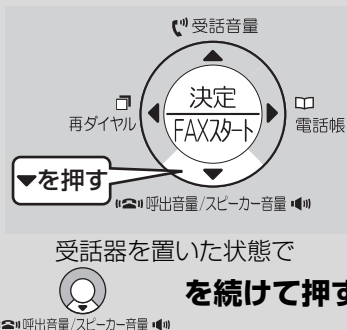
呼出音量や呼出音の種類を変える

親機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

受話器を置いた状態で

 を続けて押す

呼出音量/スピーカー音量

●はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます（音量は変わりません。）。続けて押すと音量を変えることができます。
●ボタンを続けて押すと５段階に設定できます。

親機の呼出音を鳴らさないようにする

呼出音を鳴らさないようにすることができます。

受話器を置いた状態で

 を５秒以上（「ピー」という音が鳴るまで）押し続ける

呼出音量/スピーカー音量

親機のディスプレイに 呼出音 切 が表示されます。このとき電話の呼出音は、液晶ディスプレイの表示でわかります。

● 再び、呼出音を鳴らすときは、

 を押します。

呼出音量/スピーカー音量

●「切」にしているときでも、内線からの呼出音は鳴ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

親機の呼出音の種類を変える

電話がかかってきたときの呼出音の種類を変えることができます。親機の呼出音は、あらかじめ６種類のメロディが内蔵されています。

操作のしかた

1 登録 **を押し、** ◎ **で「オト　カンレン　セッテイ」を選ぶ**

2 決定/FAXスタート **を押し、** ◎ **で「オヤキ　ヨビダシオン」を選ぶ**

3 決定/FAXスタート **を押し、「ヨビダシオン キリカエ」を選ぶ**

<オヤキ ヨビ゛ダ゛シオン>
1:ヨビ゛ダ゛シオン キリカエ

4 決定/FAXスタート **を押し、** ◎ **で呼出音を選ぶ**

<ヨビ゛ダ゛シオン キリカエ>
1:デ゛ンワベ゛ルオン

●はじめは（工場出荷時）電話ベル音に設定されています。

呼出音の種類		
	1	デンワベルオン
	2	トリノコエ
	3	デンシオン
	4	バッハノインベンション
	5	ビバルディノハル
	6	アイネ・クライネ

5 決定/FAXスタート **を押す**

トリノコエ ニ シマシタ

6 停止 **を押す**

■ **1つ前に戻るときは**

◎ を押します。

■ **設定した親機の呼出音を確認したいときは**

「親機の呼出音量を変える」（☞左記）の操作をします。設定している呼出音が鳴ります。

お知らせ

● 内線からの呼出音は、常に「プルルル、プルルル」です。
● 受信モードの設定（☞158ページ）を「FAX優先」にすると、親機の呼出音は「デンワベルオン」になります。

子機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で

（音量）を押す

- はじめは「大」になっています。
- 小 ⟷ 大の２段階に設定できます。(音を聞きながら設定してください。音は現在設定している呼出音で鳴ります。)

子機の呼出音を鳴らさないようにする

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の呼出は、通話ボタンや着信ランプの点滅でわかります。

通話ボタンを消灯させた状態で

（音量）を２秒以上（「ピー」という音が鳴るまで）押し続ける

ディスプレイに 呼出音切 が表示されます。
再び、呼出音を鳴らすときは、（音量）ボタンを押します。

- 呼出音切 に設定しているときでも、内線からの呼出音は鳴ります。

子機の呼出音の種類を変える

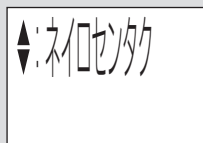
子機の呼出音は、あらかじめ９種類内蔵されています。さらに、自分で作曲できるオリジナルメロディーを１種類登録できますので、合わせて１０種類の中から１つ選ぶことができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能を押し、で「チャクシンネイロ」を選ぶ

チャクシンネイロ

2 機能を押す

⇕:ネイロセンタク

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

■ **途中でやめるときは**
を押します。

■ **オリジナルメロディーを作るときは**
（☞99～102ページ）

3 で呼出音の種類を選ぶ

●選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。（曲名は表示されません。）

呼出音の種類		
	01	「プルルル　プルルル」
	02	「ポロロロ　ポロロロ」
	03	「ピロン　ピロン」
	04	「ショートメロディ①」
	05	「ショートメロディ②」
	06	「展覧会の絵」
	07	「エリーゼのために」
	08	「のばら」
	09	「春」
	10	オリジナルメロディー（※）

※「自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー)」(☞99～102ページ）で登録すると、選ぶことができます。

4 機能を押す

●「ピー」と鳴って設定されます。

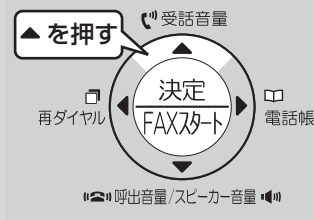
お知らせ

- 内線からの呼出音は、常に「プルルル、プルルル」です。

受話音量やスピーカーの音量を変える

相手の声が聞きとりにくいときは、受話器やスピーカーから聞こえる音の大きさを変えることができます。

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

受話器を取って　受話音量 を

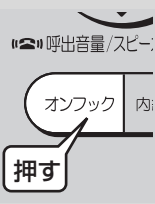
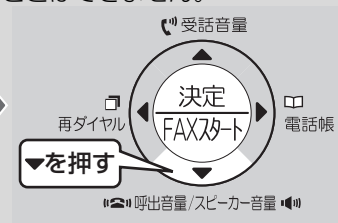
続けて押す

● はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

オンリョウ=小■■　　大

● ボタンを続けて押すと５段階に設定できます。（音量が最大のときにボタンを押すと最小になります。）

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさや、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の大きさ、留守録の応答メッセージの大きさ、読上げボイスダイヤル機能の音の大きさを変えることができます。それぞれの音量を個別に変えることはできません。

オンフック **を押し、**「ツー」という音が聞こえているときに

呼出音量/スピーカー音量 **を続けて押す**

設定が終わったら

オンフック **を押す**

● はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

オンリョウ=小■■　　大

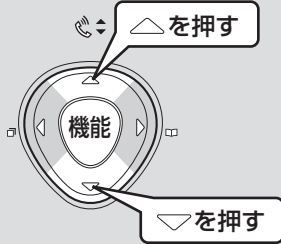
● ボタンを続けて押すと５段階に設定できます。（音量が最大のときにボタンを押すと最小になります。）

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは**
（親機送話音量を調整する　☞124ページ）

■ **親機のダイヤルボタンを押したときの音声を発声させないようにするときは**
（読上げボイスダイヤル機能　☞90ページ）

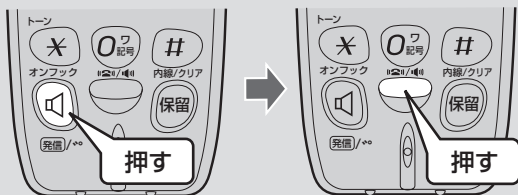
■ **親機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは**
（キータッチ音を設定する　☞92ページ）

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

通話中に
大きくするときは **を押す**
小さくするときは **を押す**

はじめは「標準」になっています。
標準 ⟷ 特大の２段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音声の大きさを変えることができます。

オンフック **を押し、**

「ツー」という音が聞こえているときに
（音量）を押す

はじめは「標準」になっています。
標準 ⟷ 大の２段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは**
（子機送話音量を調整する **☞124ページ）**

■ **子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは**
（子機受話音量を調整する **☞124ページ）**

■ **子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは**
（キータッチ音を設定する **☞93ページ）**

日付と時刻を合わせる

親機の日付と時刻を合わせる

- 親機の日付や時刻を変えるときは、「■あとで日付・時刻を設定し直すときは」(☞23ページ)をご覧ください。
- 電源コードを抜いたり、停電などで電源が切れると、日付・時刻の設定は保持されません。あらためて設定してください。(☞22〜23ページ)

子機の時刻を合わせる

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。(親機の時刻を合わせても子機の時刻は合いません。)

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

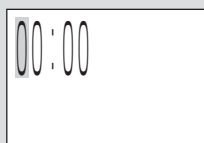
1 機能 **を押し、** **で「トケイトウロク」を選ぶ**

トケイトウロク

2 機能 **を押す**

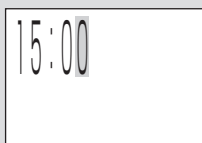
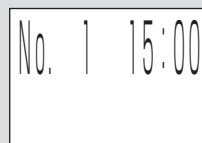
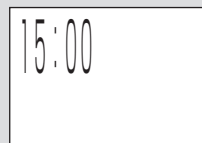
00:00

3 **ダイヤルボタンで時刻を入れる**

15:00

時刻は24時間制で入れます。

例：1 5 0 0
午後3時 00分

- 1ケタのときは、最初「0」をつけて入れます。
  例：0 9 0 8
  午前9時 8分
- 数字を入れまちがえたときは、でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

4 機能 **を押す**

- 「ピー」と鳴ったあと待受画面に戻り、0秒から時計がスタートします。（24時間制で表示されます。）

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **「ピピピピ」と鳴ったときは**

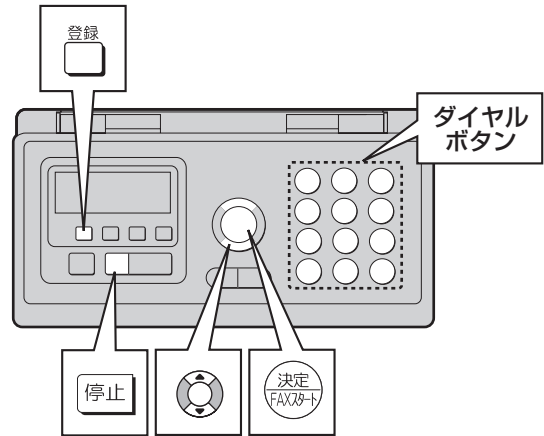
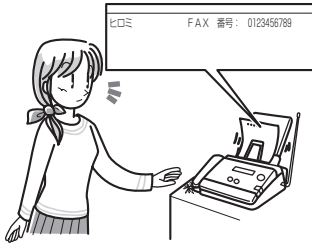
時刻として入力できる範囲を超えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

お知らせ

- 時計の精度は、1ヵ月に± 60 秒ほどの誤差があります。(25 ℃の常温の場合)
- 充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度、登録してください。
- 操作の途中で約2分間何もしないでいると、待受画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

あなたの電話番号や名前を登録する（親機）

あなたの電話番号を登録する

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。
ファクスを受けた相手の方には・・・・・・

操作のしかた

1 登録 を押し、「ショキ　セッテイ」を選ぶ

<トウロク>
1：ショキ　セッテイ

2 決定 FAXスタート を押し、○ で「ハッシンモト　バンゴウ」を選ぶ

<ショキ　セッテイ>
2：ハッシンモト　バンゴウ

3 決定 FAXスタート を押し、「トウロク」を選ぶ

<ハッシンモト　バンゴウ>
1：トウロク　2：ショウキョ

4 決定 FAXスタート を押す

<ハッシンモト　バンゴウ>
NO. =

5 電話番号を入れる（最大20ケタ）

<ハッシンモト　バンゴウ>
NO. =0312345678

●番号を入れまちがえたときはキャッチ／消去ボタンを押して、もう一度入れ直します。
●スペース（空白）を入れるときは # を押します。
プラス（+）を入れるときは * を押します。

6 決定 FAXスタート を押す

トウロク　シマシタ

7 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

○ を押します。（電話番号入力時は、キャッチ/消去 を押すと戻ります。）

■ **登録した電話番号を消すときは**

① 手順1～2の操作を行う
② 決定 FAXスタート を押し、○ で「ショウキョ」を選ぶ
③ 決定 FAXスタート を押す（「バンゴウ　ショウキョ」と表示されます。）
④ 決定 FAXスタート を押す
⑤ 停止 を押す

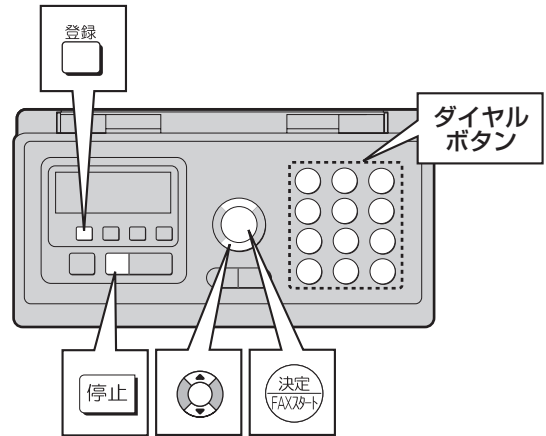
■ **登録した電話番号を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

あなたの名前を登録する

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙にプリントされます。

操作のしかた

1 登録 **を押し、「ショキ　セッテイ」を選ぶ**

<トウロク>
1：ショキ　セッテイ

2 決定 FAXスタート **を押し、** ◎ **で「ハッシンモトメイ」を選ぶ**

<ショキ　セッテイ>
3：ハッシンモトメイ

3 決定 FAXスタート **を押し、「トウロク」を選ぶ**

<ハッシンモトメイ>
1：トウロク　2：ショウキョ

4 決定 FAXスタート **を押す**

<ハッシンモトメイ>　　カ ナ

5 名前を入れる（最大24文字）

●文字の入力方法は、54～55ページをご覧ください。

6 決定 FAXスタート **を押す**

トウロク　シマシタ

7 停止 **を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◎ を押します。（文字入力時は、キャッチ/消去 を押すと戻ります。）

■ **登録した名前を消すときは**

① 手順1～2の操作を行う
② 決定 FAXスタート を押し、◎ で「ショウキョ」を選ぶ
③ 決定 FAXスタート を押す（「ハッシンモトメイ ショウキョ」と表示されます。）
④ 決定 FAXスタート を押す
⑤ 停止 を押す

■ **登録した名前を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。